

# Technical Service Data Sheet

銅・銅合金上のノンシアン銀めつき剥離剤

## エスバック AG-601

S-BACK AG-601

エスバックAG-601は、銀メッキが施された銅・銅合金素地をほとんど侵すことなく銀メッキの剥離や銀ろうを溶解をすることができるノンシアン型の銀メッキ剥離剤です。

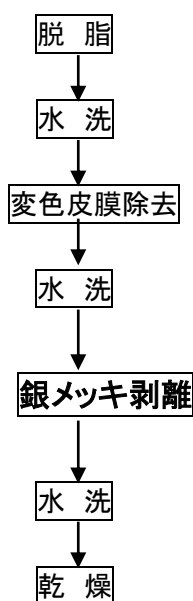
### <建 浴>

エスバックAG-601	1容量
35%過酸化水素水	5容量
水	4容量

①水 ②35%過酸化水素水 ③エスバックAG-601の順に加えて下さい。

※容器はポリエチレン、ポリプロピレン、PVC製もしくは、これらのライニングが施されたものをご使用下さい。

### <処理工程例>



銀メッキ表面が変色している場合は、銀用変色皮膜除去剤「**エスクリンAG-301**」で皮膜除去処理を行って下さい。

### エスバック AG-601

#### <使用条件>

温度：20～30℃

時間：銀メッキの厚さに応じて調整して下さい。

※揺動させて処理することで、均一な剥離効果が得られます。

※1回の処理量は浴比  $V(\text{ml})/A(\text{cm}^2)=10$  以上でご使用ください。

※35℃以上になりますと、液分解が速くなり処理剤の寿命が短くなります。

※一度に大量の部材を処理すると急激な反応を起こし、液がふきこぼれることがありますので浴比は必ず守ってください。

※液温を下げるには、冷却器を使用することをお奨めします。

#### ◎処理剤が沸騰状態になった場合

処理温度が上昇していきまると、処理剤の分解が進み、沸騰した状態になります。このようになった時は、処理剤の中へ水を入れて沸騰した状態を止め、処置を施した処理剤は廃棄して下さい。



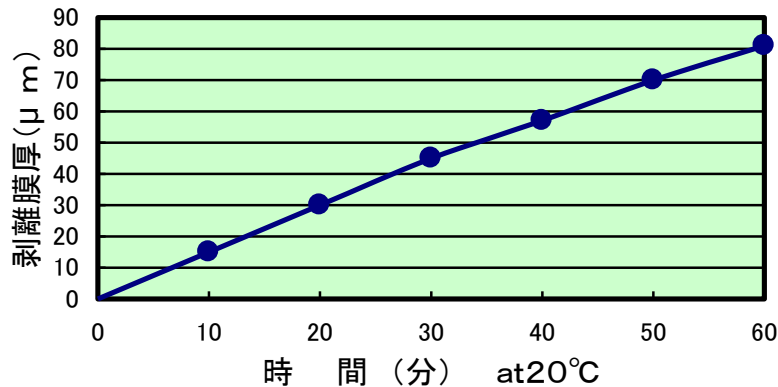
佐々木化学薬品株式会社

京都市山科区勸修寺西北出町 10  
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784  
支店：滋賀・鹿児島 営業所：東大阪

# Technical Service Data Sheet

## [能力]

1分間に1.3~1.5 $\mu\text{m}$ (20~30 $^{\circ}\text{C}$ )、建浴液1リットルで約15gの銀を剥離することができます。



## <廃液処理方法>

1. 塩酸または塩化ナトリウムを加えて銀を沈殿させ、濾別します。  
塩化銀の白色沈殿が生成します。この沈殿を濾別することにより、塩化銀として回収でき、必要に応じて銀に還元します。
2. 残留している過酸化水素は、40~50 $^{\circ}\text{C}$ に加熱しますと分解が促進され、完全に処理できます。  
多量に残留しているときは、水で希釈した後、亜硫酸ナトリウム等の還元剤で処理して下さい。
3. 濾液に約10%水酸化ナトリウム溶液を徐々に加えて中和処理を行って下さい。
4. 銅イオンが存在している場合は中和処理により茶褐色の沈殿が生成しますので、濾別してから排出して下さい。
5. 沈殿物等は産業廃棄物として処理します。  
※過酸化水素水が添加された建浴液・使用液は保存不可な為、ご使用後は速やかに処理して下さい。

## <使用上の注意>

- ・ 本品および建浴液は酸性ですので、ご使用時には必ず保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等の適切な保護具を着用し、排気装置を使用して下さい。
- ・ 眼に入った場合は、直ちに清浄な流水で、まぶたを指で開きながら15分以上洗眼し、必ず医師による処置を受けて下さい。
- ・ 付着した場合は、直ちに衣類を脱がせ、付着部を多量の水で十分に洗い流し、医師による処置を受けて下さい。
- ・ 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませた後、速やかに医師の処置を受けて下さい。  
(無理に吐かせようとはしないで下さい)
- ・ 本品保管時には必ず密栓をして、直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
- ・ 過酸化水素水が添加された建浴液、使用液は保存することができません。また、一度使用された液は、液の噴出や容器が破損することがありますので、絶対に密閉容器には入れないで下さい。
- ・ 使用した廃液を保管するときは、ガス抜き仕様の容器をご使用ください。

## <荷姿>

エスパックAG-601

ポリ容器

20kg



佐々木化学薬品株式会社

2017年10月発行  
京都市山科区勸修寺西北出町10  
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784  
支店: 滋賀・鹿児島 営業所: 東大阪